

## 磐田市全国学力・学習状況調査の結果公表について

### I 目的

教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、教育及び教育施策の改善に取り組む。

### II 結果公表などの方法

#### 1 磐田市教育委員会

##### (1) 市の結果公表

###### ア 公表内容

- ・市の国語、算数、数学、中学校英語の平均正答数、平均正答率、結果分析及び学習状況調査の結果などを公表する。さらに、改善方策についても示す。
- ・学校別一覧の公表は行わない。

###### イ 公表方法

- ・市民へは、ホームページで公表する。
- ・学校の保護者などへは紙媒体で公表する。

###### ウ 公表の時期

- ・8月初旬に、国語、算数、数学及び中学校英語について、市の平均正答数、平均正答率及び結果分析をホームページで公表する。
- ・10月初旬までに、学習状況調査結果分析と学力向上に向けた改善策をリーフレットにまとめ公表する。

#### 2 学校

##### (1) 該当学年児童生徒及びその保護者への結果(数値)伝達

###### ア 伝達内容

基本的に学校の平均正答数及び結果分析を該当学年児童生徒及びその保護者のみへ伝達をする。【別紙2参照】

###### イ 伝達方法

個人調査結果シート裏面に印刷するなど、学校の裁量で行う。

###### ウ 伝達時期

9月中旬までに伝達をする。

##### (2) 児童生徒及び保護者などへの結果(文章)公表

###### ア 公表内容

昨年と同様に言葉による表現を用いて、結果や分析、学習状況調査結果分析、学力向上に向けた改善策を公表する。その際、成果を挙げている取組や児童生徒の強みなどの評価されるべき点も盛り込むこととする。

###### イ 公表方法

学校だよりなど学校の裁量で行う。

###### ウ 公表の時期

10月中旬までに公表をする。

##### (3) 学校運営協議会委員への伝達

ア 学校平均正答数等を伝達する場合は、口頭で伝えていく。

イ 学習状況調査結果分析と学力向上に向けた改善策については、学校の裁量で行う。